

ない 秋茶りの賑やかな太鼓の音を耳に、して 着るに衣がく 食ふに物なき、
可憐な妻子を 叱り、慰り、さとす言葉が涙に埋められし

最後の危機は刻々に迫つて来る

この歳五ヶ余人の製陶労働者代表者、決死の第一線に立ち二二五
五の同志と、この危を創へさせると

日本製陶労働同盟の全會員、吾 全日本の自覚ある組

織労働者諸君 諸君の福かと思はれ部へは 願くばわが勇

敵なく激闘、争議団ととり妻子を飢へしめると

大正十五年拾月十八日

日本製陶労働同盟

争議団本部に

岐阜縣土岐郡笠原町瀧呂

公會堂にて

瀧呂製陶労働争議団